

生涯学習自己診断表（薬剤師生涯研修の指標項目）の入力方法等

1. 初めに

生涯学習自己診断表とは学習した内容を整理・確認するときの目安として用い今後の学習計画の立案に役立ていただくものです。

新規又は更新認定申請をする際に下記の記載事項を参考にしつつ、すべての項目を入力してください。

2. 記載方法

①業務上必要度（A）欄

この欄には、自分の現在の業務の業務上の必要度を1点～10点で入力します。

業務上最も必要な項目であれば、10点となります。中程度の必要性であれば5又は6点です。ほぼ必要がない場合は1点になります。

この業務上の必要度は、自分自身で判断して点数を付ければよく、他の人との整合性をとる必要はありません。

②現状達成度（B）欄

この欄には、現時点での達成度を1点～10点で入力します。

十分に学習していると考える項目であれば、10点となります。なお、これは現時点での達成度ですし、学習すべき内容は時間の経過とともに変化しますので、現時点では10点でも、将来は5点になることもあり得ます。ほとんど学習していなければ1点になります。

この現状達成度も、自分自身で判断して点数を付けてください。

③自己学習必要度（A－B）欄

「計算」ボタンを押下すると計算されます。

（A－B）を計算します（マイナスの値になったときは0とします）。その数値が大きいほど、学習が不足していることになります。

この数値によって不足している学習項目とその度合いがわかりますので、それを参考として次の更新認定申請までに重点を置くべき研修内容を決めてください。

3. 入力

生涯学習自己診断は、PECSでの認定申請の際に入力してください（入力必須です）。

参考：

- ・「研修認定薬剤師 新規申請手順（PDF）」
- ・「研修認定薬剤師 更新申請手順（PDF）」